

ガルキン



kintone & Garoon ユーザー事例集



Pick
Up
User

User
01



株式会社ジョイゾー様

User
02



株式会社ISSリアライズ様

User
03



株式会社山下PMC様

kintoneで こんな課題があったらGaroon!

kintoneとスケジューラーを**連携**して使いたい

Garoonなら

スケジュールと kintone アプリを連携して利用可能。案件と紐付いた予定をレコード上で一覧表示でき、案件の進捗が把握しやすくなります。

Garoon

★ 商談 サイト商事株式会社様

| | |
|-----------------|--|
| 日時 | 2021年04月01日 (木) 13:00 ~ 14:00 |
| 施設 | |
| 案件管理(kintone連携) | 会社名 : サイト商事株式会社 部署名 : 総務 先方担当者 : 斎藤 直樹 TEL : 358-220-xxxx メールアドレス : saitou@sample.co |

活動履歴

| 日時 | タイトル |
|-------------------------------|---------------|
| 2021年04月01日 (木) 13:00 ~ 14:00 | 商談-サイト商事株式会社様 |
| 2021年03月17日 (水) 15:00 ~ 16:00 | 商談-サイト商事株式会社様 |
| 2021年03月08日 (月) 10:00 ~ 11:00 | 商談-サイト商事株式会社様 |
| 2021年02月25日 (木) 15:00 ~ 16:00 | 商談-サイト商事株式会社様 |

kintone

仕事に必要な情報を一箇所に**まとめたい**

Garoonなら

ポータルに kintone アプリのリンクをまとめたり、グラフやレコード一覧を表示できます。仕事に必要なアプリを見つけやすくなります。

Garoon 画面のスクリーンショット。左側には折線グラフと棒グラフ、右側には円グラフとデータテーブルが表示されています。下部には「社内行き先案内板」として、出張申請、休暇申請、交通費精算、付属口、社内規定、人事制度、業務報告、内線番号、相談窓口などのタイルが並んでいます。

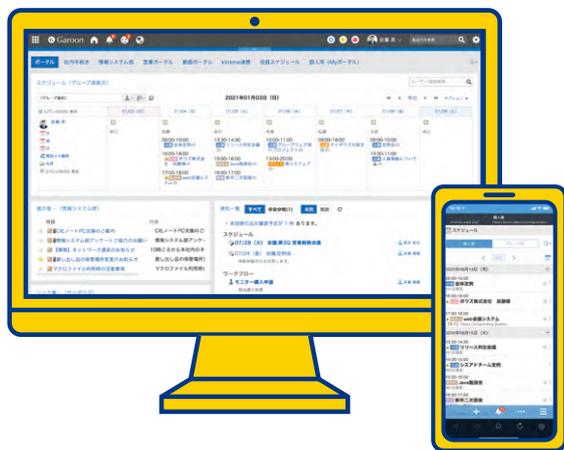
全社向けの情報をしっかり**届けたい**

Garoonなら

掲示板で全社通達を出したり、ファイル管理でマニュアルなどを共有できます。社員全員に必要な情報が届きやすくなります。



Garoonはkintoneと連携できる サイボウズのグループウェア



スケジュール



掲示板



ファイル管理



ポータル

Garoonは10名から数万名の幅広い規模で利用できるサイボウズのグループウェア。スケジュール、施設予約、ポータル、掲示板、ファイル管理など全社の情報共有に必要な機能がワンパッケージで揃っています。kintoneをはじめさまざまな製品と連携して利用可能。社内システムをまとめる入り口として利用できます。



クラウド版 Garoon ユーザーの約62%が kintone も導入

相乗効果が出しやすいため、
多くのユーザーが Garoon と kintone を併用しています。

※ 2023年ユーザーアンケートより

Garoonをkintoneと一緒に使えば 情報共有がスムーズに



全社も部署も情報共有基盤をまとめて構築

Garoonはスケジュールや掲示板など全社の情報共有、kintoneは案件管理や在庫管理など業務に合わせたシステムを実現できます。全社の情報共有と業務システムがシームレスにつながることでさらなる効率化が可能です。



連携機能でさらに便利に

Garoonのスケジュールは標準でkintoneと連携して利用できます。また、さまざまな使い方が広がるプラグインがサイボウズ オフィシャルパートナーから提供されています。



ユーザー管理を一元化し管理負荷軽減

Garoonとkintoneには共通の管理画面がありユーザー管理を一元化できます。Garoonとkintoneのユーザー数を合わせる必要はなく、使いたいユーザー数のみ契約できます。

詳しくはこちらから

<https://garoon.cybozu.co.jp/function/expand/kintone.html>





グループスケジューラーを求めて Garoonを導入 ポータルで会社の情報を可視化

株式会社ジョイゾー 様

導入の経緯

グループスケジューラーを求めてGaroonを導入、決め手はkintone連携

—株式会社ジョイゾー様の事業内容について教えてください。

当社は2010年設立のSlerで、2011年のkintoneリリースを機にkintone 専業になりました。kintoneを活用したシステム開発が主な事業です。ノーコード/ローコードツールであるkintoneを使えばデータベースとフォームを手軽に作れるので、開発よりも要件定義、つまり問題解決側に集中できます。お客様の課題やご要望を聞きながら目の前で作れることを活かして、2014年に定額対面開発サービス「システム39」を始めました。kintoneはシステム開発で使うだけでなく、2011年から社内の業務システムとしても使っています。

—元々kintoneをご利用いただいていた中で、Garoonを導入した理由を教えてください。

一番の理由はスケジューラーが必要になったからです。スケジュール管理は元々Googleカレンダーを使っていました。社員数が4～5名だった頃は問題なかったのですが、10名くらいになると組織やチーム単位でスケジュール

を見たいという要望が出てきました。

そこで組織単位の予定を確認しやすいサイボウズ製品のスケジュール機能を使おうと考えました。Googleカレンダーは個人のスケジュール管理に向いている一方、日本企業の組織構造を意識した設計思想なのはサイボウズ製品だと感じます。もともとkintoneを使っていたのでユーザー管理を一元化できるのもメリットだと感じました。

—kintoneでスケジュール管理をすることは考えなかったのでしょうか？

たしかにkintoneでもプラグインを使えばできなくはないのですが、あくまで「できなくはない」です。月ごとや週ごとに組織単位でスケジュール表示をしたい、施設予約と連携させたいと考えると、そうした機能を備えるGaroonを入れるほうがメリットは大きいです。「餅は餅屋」ということですね。

—従業員数が10名前後だとサイボウズOfficeをご利用いただくことも可能ですが、なぜGaroonを選ばれた

ジョイゾー様の社内システムの様子



業種

IT

利用サービス

クラウド版 Garoon、kintone

利用規模

25 ユーザー

株式会社ジョイゾーは、2010年に設立し、サイボウズのクラウドサービス kintone を活用したシステム開発支援を行う Sler です。

<https://www.joyzo.co.jp/>

JOYZO



のでしょうか？

決め手は kintone と連携できるところでした。Garoon には kintone との連携機能がありますし、プラグインや API を使った連携もできます。人数が少なくても Garoon を使っていていいと考えています。クラウド版 Garoon であればサーバーなどのハードウェアの調達が不要なので、少人数でも導入のハードルは低いです。

—Garoon と kintone 以外で現在ご利用中の社内のシステムはありますか？

業務用の社内コミュニケーションは LINE WORKS、社内部活動の報告など雑談では Slack を使っています。LINE WORKS は当社提供の Joboco を使って kintone と連携させています。お客様との予定調整には調整アポを使っており、Garoon のスケジュールと連携させています。

Microsoft 365 は Apps for business を契約しており、Office ソフトの利用がメインです。メールは Gmail を

使っていますが、お客様とのやりとりは kintone のゲストスペースを使うことが多く、メールも個人アドレスではなくグループアドレスを作ってメールワイズを使ってやりとりをしています。従業員数が少ないので IDaaS を使わなくても複数の SaaS のユーザー管理がまだできています。

—複数のシステムを入れるとライセンス料がかさみますが、コスト面ではどのようにお考えですか？

一つのものでまかなえるのに越したことはありませんが、自分の考え方としては「餅は餅屋」です。我々は kintone 専門 Sler だからこそ kintone の得意も苦手も分かっています。そのため kintone をメインの業務システムとしながら、スケジュール管理は特化した Garoon を使おう、販売管理やタスク管理はそれぞれ専門ツールを入れようという風に、kintone を核にしながら別のサービスも使い、連携できるところはデータ連携させる方針です。複数のシステムを使っても二重投資ではないと考えています。

導入の効果

スケジュール確認が手軽に、kintone×ポータル連携で会社の情報を可視化

—Garoon はどのような業務に使われていますか？

主に社員のスケジュール管理、ポータルの運用、社内の掲示で使っています。スケジュールのグループ週表示ではチームの予定をまとめて確認できます。共有予定機能を使えば参加者と別に共有先を設定でき、お互いの予定をさらに確認しやすくなります。出欠確認機能も便利ですね。

—スケジュールはどのように kintone と連携させていますか？

Garoon のスケジュールと kintone の案件管理アプリを紐づけて、スケジュールに案件情報を表示できるようにしています。スケジュールでお客様の情報を把握できますし、

1 クリックで紐づいたレコードを開けるので詳細もすぐに確認できます。紐づけには、サイボウズが提供する無償の kintone プラグイン「Garoon スケジュール連携」を使っています。「試用環境 URL」など kintone のレコードに記載された URL のリンクが Garoon のスケジュール上で有効になるのは JavaScript カスタマイズによるものです。

—他に kintone と連携している機能はありますか？

Garoon ポータルと kintone を連携させています。たとえば kintone アプリに貯めている案件情報やライセンス情報を kintone プラグイン krew でダッシュボード化し、表示しています。「試算表」ポータルには kintone を介して



Garoon スケジュールと kintone アプリの連携の流れ



会計システム free の情報を表示しています。Garoon を入り口に会社の数字が可視化されていますし、Garoon を覗きに行けば必要な情報を拾えます。



— kintone でも社内ポータル^①の運用は可能ですが、なぜ Garoon で作られているのですか？

Garoon だとスケジュールや掲示板、リンク集などのパーツ（ポートレット）が準備されているので設定が手軽だからです。パーツ単位でアクセス権をかけて表示させるかどうかを設定するのも便利です。

カスタマイズなしで複数作成できるのもいいですね。当社でも用途にあわせて複数作成しています。日々見ている「ポータル」には、Garoon のスケジュールや掲示板の情報、kintone アプリの情報、kintone やメールワイズ^②の通知、お客様との予定調整で使う調整アポ^③のリンクをまとめています。

— kintone のトップページは一切使っていないのですか？

いえ、kintone のポータル（トップページ）は kintone だけのトップページとして使っています。全社ポータルとして Garoon があり、その下の階層に kintone ポータルがあるイメージです。カスタマイズを入れることで複数のタブを用意したり、標準のレイアウトを変更したりできるようにしています。

— 他に利用している Garoon の機能はありますか？

ポータルと同様に標準機能の範囲内でも便利なのが掲示板です。kintone でもやろうと思えばできますが、閲覧状況確認や掲示期間の指定が標準機能として搭載されているのは Garoon の強みですね。





Garoon+kintone +チャットツールdirectを併用 システムを繋ぐポータルを構築

株式会社ISSリアライズ 様

導入前の課題

Notesのサポート終了 自分たちで業務改善できない環境

—ISS リアライズ様について簡単に教えてください。

ISS リアライズは、1920年に創業した加工製品商社です。8万点を超す加工製品のデータベース、日本全国2,400社を超える仕入先など、豊富な情報や知識をISSグループとして保有しています。それらを活かし、製造業の部品調達における困りごとの解決をしています。

お客様が抱える調達課題は、仕入先選定、安定供給、納期、コストなど様々です。それぞれの事情に合わせた提案や調整が当社の提供価値となっています。マッチングを目的としたコンサルティングだけではなく、完成して納品に到るまで、モノづくり全域にわたりきちんとサポートできることが強みです。

—Notes から移行する前はどのような状況でしたか？

Notesは当社のシステム基盤として6年間利用しており、1,500以上のデータベースが存在しました。用途は社内ポータルや掲示板、会議室予約、メールサーバーなどでした。とはいえ、一般社員は主にメーラーとして利用しており、グループウェアだと考えていた人は少なかったです。

—当時の課題を教えてください。

利用しているNotesのサポート終了発表があり、セキュリティ面の不安から別ツールを検討し始めました。

情報技術グループには、営業出身者や、情報技術を専門に学んだわけではない人も多く所属しています。運用保守に専門知識が必要なNotesを使いこなせていませんでした。情報技術グループとして推進していきたい業務改善が自分たちでできるツールが必要だったのです。

導入の決め手

最も操作性・検索性が高く ビジネスの変化にも対応できるサービス

—検討で重視した点を教えてください。

自分たちの手で業務改善できる、習熟しやすいツールであることは重視して検討しました。総合的に見て操作性や情報の検索性が最も高いのがGaroonでした。Garoonは最初にマニュアルを読み込む必要がなく、直感的に使えます。ヘルプページが充実しているので、困っても調べたらすぐに答えがわかりました。情報の検索性についても、Garoonには全文検索機能があるので調べたい資料をすぐに見つけられます。ユーザーとしても、若手からベテランまで、ほとんどの社員が身近に使えるツールになると確信しました。「情報共有のスピード」の観点でも、他製品より優位性があると判断しました。

—決め手は何だったのでしょうか？

Garoonは変化し続けるツールであることが決め手でした。今、世の中で使われているサービスのトレンドは、つながること、連携だと思えます。業務改善を進める上でも、他システム間との連携や併用を想定した環境が必要でした。Garoonは世の中のトレンドに合わせてサービスや機能が更新されています。当社のビジネスの変化にも対応できるツールだと思いました。また、内製化ツールの核として、2018年から既にサイボウズのkintoneの活用を模索していました。同じサイボウズのGaroonなら連携・併用しやすいことも評価したポイントでした。

業種

商社

利用サービス

クラウド版 Garoon、kintone

利用規模

380 ユーザー

株式会社 ISS リアライズは、「情報と知識で、製造業を支援する」というコーポレートスローガンを掲げ、加工製品商社という新しい領域を開拓してきた企業です。

<https://www.issgrp.co.jp/>

株式会社 ISSリアライズ



— 選定時に印象に残ったことはありますか？

サービスや機能の更新が続いていく SaaS を利用する上で、サービスを提供する企業の考え方や製品思想も重要だと考えています。サイボウズは外資系メーカーと比べて、

コラボレーションや働く楽しさを重視している企業だと感じました。製品画面や資料、社長の青野さんの発言などを見ても、当社と考え方がマッチしていると感じ、安心して導入できました。

導入の効果

Garoonでポータルを更新 kintoneで内製化

— Notes からの移行はどのように行いましたか？

情報技術グループで 1,500 以上のデータベースの移行を検討しました。ログ調査やヒアリングで必要性を確認し、約 9 割を不要と判断して削除しました。残りの 1 割を Garoon や kintone に移行中です。Notes のデータベースを残すつもりはなく、2022 年中にサーバー自体を撤去する予定です。

元々 Notes のデータベースで運用していた会議室の予約や掲示板は、Garoon の機能で代替しました。システムマニュアル、規定、会議資料、電話番号表などのデータベースは kintone に移行しました。移行直後は問い合わせが殺到しないか心配でしたが、何事もなく安心しました。

— Garoon の導入効果はいかがですか？

ポータルを中心に様々な社内システムをつなげられました。Notes や SFA のスケジューラー、会議室予約 DB にまたがっていた情報が集約され、利便性が高まりました。他にも、紙の申請をほぼ Garoon のワークフローに移行できました。掲示板を使った部署やグループ会社からの情報発信も増えています。全体として、情報共有のスピードが変わった実感があります。

— Garoon 以外のサービスも併用されていますね。

Garoon のポータルには「楽々精算」、「OBIC7」、「カオナビ」のアイコンを配置しており、様々な社内システム



■ Notes のデータベースを Garoon と kintone に移行した



kViewer の画面を Garoon のポータルに埋め込んでいる



の入り口の役割を果たしています。

ログインの手間削減やセキュリティ強化のため、シングルサインオンで連携させたサービスも随時増やしていく予定です。管理者側としては、1つのサービスで購う方がシンプルで良いという考え方もあるかもしれません。

しかし、ユーザーからすると、画面遷移するのであれば同じサービスでも違うサービスでも変わりません。例えば経費精算やタレントマネジメントは、それぞれ特化したサービスを利用した方がユーザーにとっては使い勝手が良いと考えています。

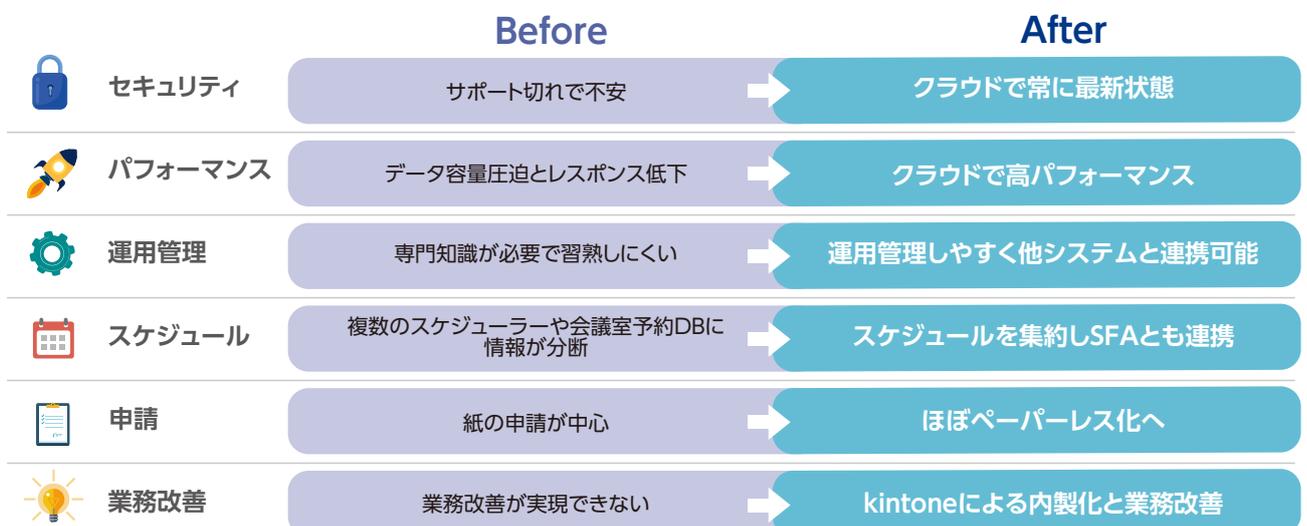
— Garoon に加えて kintone をどのように利用していますか？

kintone は総務部が管轄するデータベースの作成や、

ヘルプデスクの管理で使用しています。これまでデータベースや業務システムの構築、更新は情報技術グループの仕事でした。しかし kintone が浸透するにつれ、財務グループ、管理グループ、人事グループのメンバーも自分たちで業務アプリを作れるようになってきました。

例えば、頻繁な改訂が必要なコロナウイルスに関するガイドラインは、人事メンバーの手ですぐに更新可能です。2021 年末に社名を変更した際は、社名変更に関する Q&A を今までに無い速さで構築できました。Q&A は kintone 連携サービスの「kViewer」を用いて Garoon のポータルに表示しており、Garoon にログインすれば閲覧できます。

情報技術グループへの問い合わせフォームは kintone の連携サービスである「フォームブリッジ」で作成していま



■ フォームブリッジで作成したお問い合わせフォーム

情報技術グループへのお問い合わせ内容を下記のフォームに入力して下さい。

※お問い合わせ受付後、翌営業日までに、担当者より一次回答を連絡いたします

※緊急の事案については情報技術グループメンバーまで直接連絡をお願いします

販売システムについてのお問い合わせはこちらをご覧ください。
解決できなかった場合はフォームへの入力をお願いします。

[販売システム Q&Aサイト](#)

部署（例：大阪〇課）

氏名（例：井上太郎）*

Garoonの役立つ情報がたくさん掲載されています！
ぜひご覧ください

→ マニュアル
操作説明はこちらから

→ Q&A
過去にあった問い合わせと回答はこちらから。

→ お問い合わせ
わからないことがあればこちらから

■ ポータルテンプレートを利用してグラフィカルなポータルも簡単に構築できる

す。問い合わせ内容が kintone アプリに集約されるので、対応の効率化につながっています。

Garoon 活用促進のために作成したポータルにも、問い合わせフォームへのリンクを設置しています。kintone

による業務改善の自走がどんどん進み「こんなに社内の内製化ニーズは大きかったのか」と驚きました。利用範囲の拡大に伴って、kintone のアプリの命名ルールや閲覧権限のルールをガイドラインとして公開しています。

今後の展望

システム運用担当者から戦略部門へ

— 今後の Garoon に関する展望を教えてください。

Garoon には、情報共有のスピードやコミュニケーションにかつてない変化をもたらし、ビジネスプラットフォームの中心的な存在になる可能性を感じています。ユーザーには、「毎日ポータルを開きたくなる」「仕事のスタートは Garoon を開くことから」と思って欲しいです。そのため、まずは私たち自身が Garoon の一番のファンとなり、良さを模索し伝え続けていくつもりです。IT 部門だけでなく、社員みんなを巻き込みながら仕組みを育てていきたいと考えています。

— どのような活動に取り組む予定でしょうか？

Garoon のインフラ化に繋がる重要施策として、Notes

のメーカーから、Garoon と親和性の高い「CYBERMAIL Σ」に移行予定です。CYBERMAIL Σは Garoon のポータル上でメールボックスを確認できます。これによって全社的に Garoon を見る頻度も向上するはずです。

— 今後期待していることはありますか？

Garoon の今後の機能アップデートについてもすごく期待しています。新機能が出ると、社内でもちよっと話題になりますし、これをどう使うか、どう広めていこうかという話になります。Garoon や kintone を通じて、情報技術グループは単なるシステム運用担当者ではなく、企画側、戦略部門に変わっていけるとと思っています。

詳しくはこちら

<https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/iss-realize/>





スケジュールとkintoneを連携し 工数管理を効率化、 全社ポータルも活用

株式会社山下PMC 様

導入前の課題

「全社ポータル」と「kintoneとスケジュールの連携」の早期リリース

— 山下 PMC 様について簡単に教えてください。

山下 PMC は建設をコアとするマネジメント企業です。メガプロジェクトを中心にさまざまな施設を手がけ、プロジェクトの上流から参画することで、お客様の事業戦略につながる施設戦略の提案・実行できる点が我々の強みです。一級建築士の有資格者などを中心とする建築の専門家約 240 名が在籍していますが、プロジェクトの上流工程から施設づくりに関わりたいという社員が多いですね。

— 約 240 名の社員が在籍され、それぞれが異なるプロジェクトに関わるとすると、扱う情報も多種多様かと思えます。社内の情報共有にはグループウェアを利用されていたと伺いましたが、Garoon に移行する前はどのような課題があったのでしょうか？

まず社内ポータルに課題がありました。山下 PMC では勤怠管理、経費精算、原価管理、名刺管理などさまざまなシステムを使っています。しかしそれらのシステムの入り口がバラバラで使いづらく、不満の声が上がっていました。ここ数年は社員が急激に増えており、次々と新しい社員が入社しています。彼らのためにも社内のシステムや情報を整理するポータルが必要でした。

導入の決め手

kintoneとの親和性を優先しサイボウズのGaroonを選択

— どのように製品選定を行いましたか？

約半年で運用開始する必要があったため、すでに利用していた kintone との親和性が決め手になりました。サイボウズ製品を前提に検討する中で、Garoon ならポータルやスケジュールなど必要な機能がそろっていますし、API が用意されているのでカスタマイズや kintone とのデータ連

Garoon 導入前に利用していたグループウェアでは簡単なリンク集しか作れず私たちが作りたいポータルとはほど遠いものでした。もっと見やすく「ここを見れば社内の情報がどこにあるかわかる」という場所を作りたかったのです。

— Garoon 導入前に kintone をすでにご利用いただいていた。kintone について課題はありましたか？

kintone ではすでに多くのアプリを運用していました。その中で工数管理に利用している「業務日報アプリ」をグループウェアのスケジュールと連携したいと思っていました。「業務日報アプリ」には社員がどのプロジェクトに何時間使ったかを毎月入力するのですが、スケジュールと連携すればもっと効率よく入力できると考えたのです。

— 導入検討から運用開始までのスケジュールがタイトだったと伺いました。

全社ポータルの作成と「業務日報アプリ」のスケジュール連携の話が持ち上がったのが 2020 年 8 月、本格的に着手したのが 10 月だったのですが、2021 年の 4 月には本格稼働を開始する必要がありました。約半年という短期間でリリースを完了させることも課題の 1 つでした。

携もやりやすいと考えました。

また、kintone のユーザー情報がそのまま使えシームレスにアクセスでき、画面デザインなどの使い勝手が似ていることも重要でした。使い慣れた kintone と操作感が似ているツールなら社員も抵抗なく利用開始できます。山下 PMC は社員の年齢層が幅広いいため直感的で使いやすいこ

業種

サービス

利用サービス

クラウド版 Garoon、kintone

利用規模

230 ユーザー

株式会社山下 PMC は、建築におけるプロジェクト・マネジメント、コンストラクション・マネジメントのリーディングカンパニーです。

<https://www.ypmc.co.jp/>

ypmc



とが求められていました。

さらに、kintone のカスタマイズや運用を委託している有限会社リズムタイプ様が Garoon のカスタマイズに対応できることもポイントでした。新しく開発パートナーを探す必要がなく、プロジェクトが立ち上がってからすぐに詳細要件の検討に入れました。このような背景から「**全社ポータル**」と「**kintone 連携**」を早期にリリースするためには Garoon が最適だと思いました。

—他の製品も検討されましたか？

Microsoft 365 を利用しているので SharePoint でポータルを作成し、Outlook と kintone を連携させる方法もあったかもしれませんが、しかし早期にリリースできる点や、使いやすさの点で kintone との親和性が高い Garoon を使う方が良いと考えました。

また当初は、ポータル構築やスケジュール管理もすべて kintone で実装することも考えました。しかし細かい要件を検討する中で kintone だけでは機能がマッチしないとわかり、Garoon を利用した方が良いという結論になりました。

導入の効果

「ここを見ればわかる」全社ポータルが完成、kintone連携により工数管理の負担が半減

—導入前の課題だった全社ポータルの構築はできましたか？

社内システムや資料へのリンクをまとめたポータルを作成しました。HTML を利用して社外向けの企業サイトとデザインを合わせ、社員が見やすいように工夫しました。

これまではバラバラになっていた社内システムの入り口を 1 ヶ所に集約し「ここを見に行けば社内システムへアク

セスできる」場所を作ることができました。新しく入社した社員も必要な情報がどこにあるかすぐに把握できるようになりました。

—もう 1 つの課題だった kintone 連携についてはいかがですか？

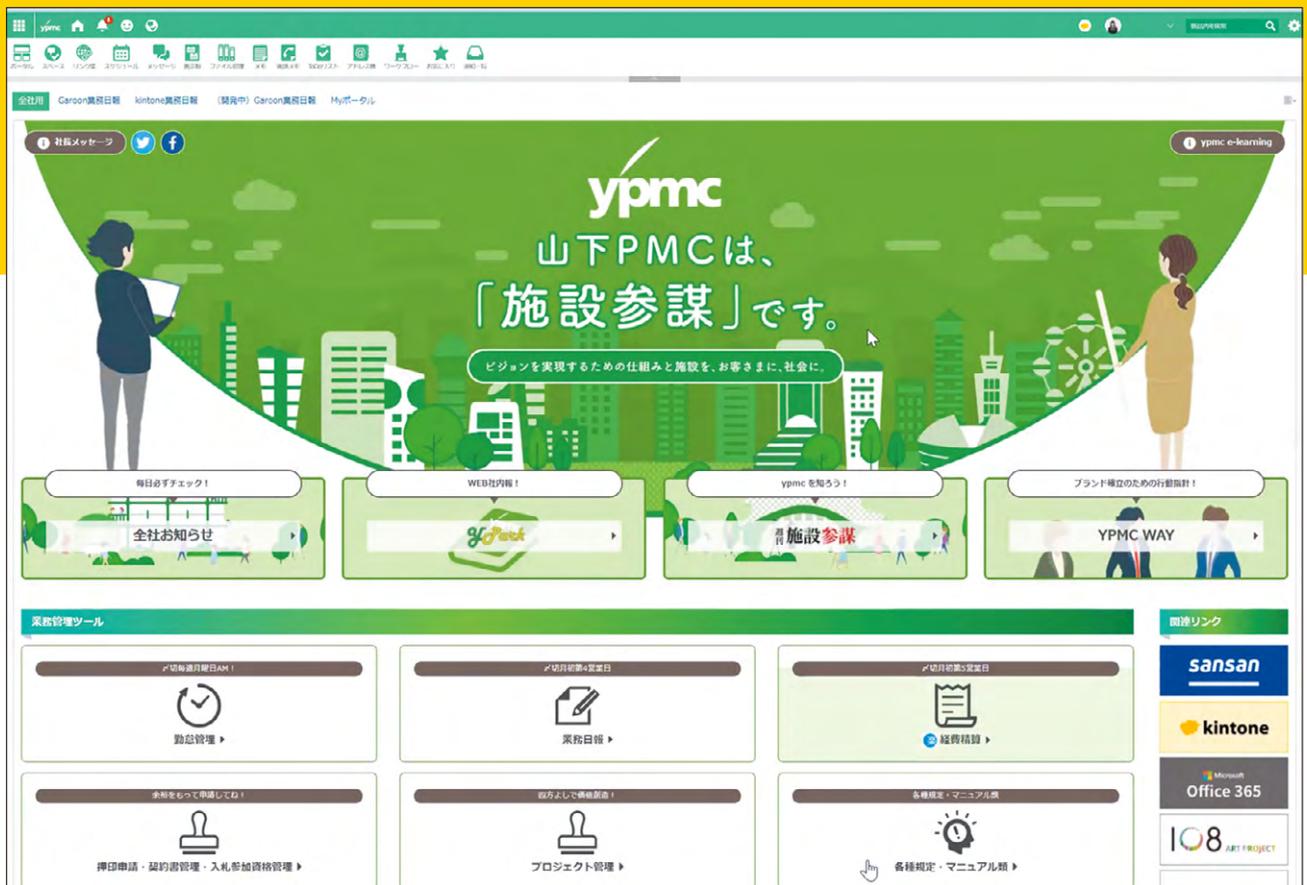
工数管理に利用している「業務日報アプリ」とスケジュール



■ 社内ポータルについての Garoon 導入後の効果



■ 社内システムや資料のリンクを集約した全社ポータル。社外向けの企業サイトと同じデザインにしている



ルを連携するカスタマイズを実装しました。これによって社員が工数入力する手間を大幅に削減できました。

山下PMCではどのプロジェクトに何時間使ったかの工数をkintoneの「業務日報アプリ」に入力して工数管理しています。以前は「業務日報アプリ」と旧グループウェアのスケジュールを目視で照らし合わせながら、いつどのプロジェクトの作業を何時間行ったのか、ひとつひとつkintoneに入力していたため非常に手間がかかっていました。多くの社員は月末にまとめてその作業を行うため、関わるプロジェクトが多い場合は1-2時間かかってしまう人もいました。

今回Garoonとkintoneをカスタマイズして「業務日報アプリ」からワンクリックでその月のスケジュールデータを取り込めるようになりました。またGaroonで予定を登録する時にkintoneで管理しているプロジェクトコードと予定を紐付ける機能も入れました。

これにより現在は「業務日報アプリ」で「Garoonスケジュールの取り込み」ボタンを押すだけで工数入力できます。スケジュールにプロジェクトコードが紐付けられている

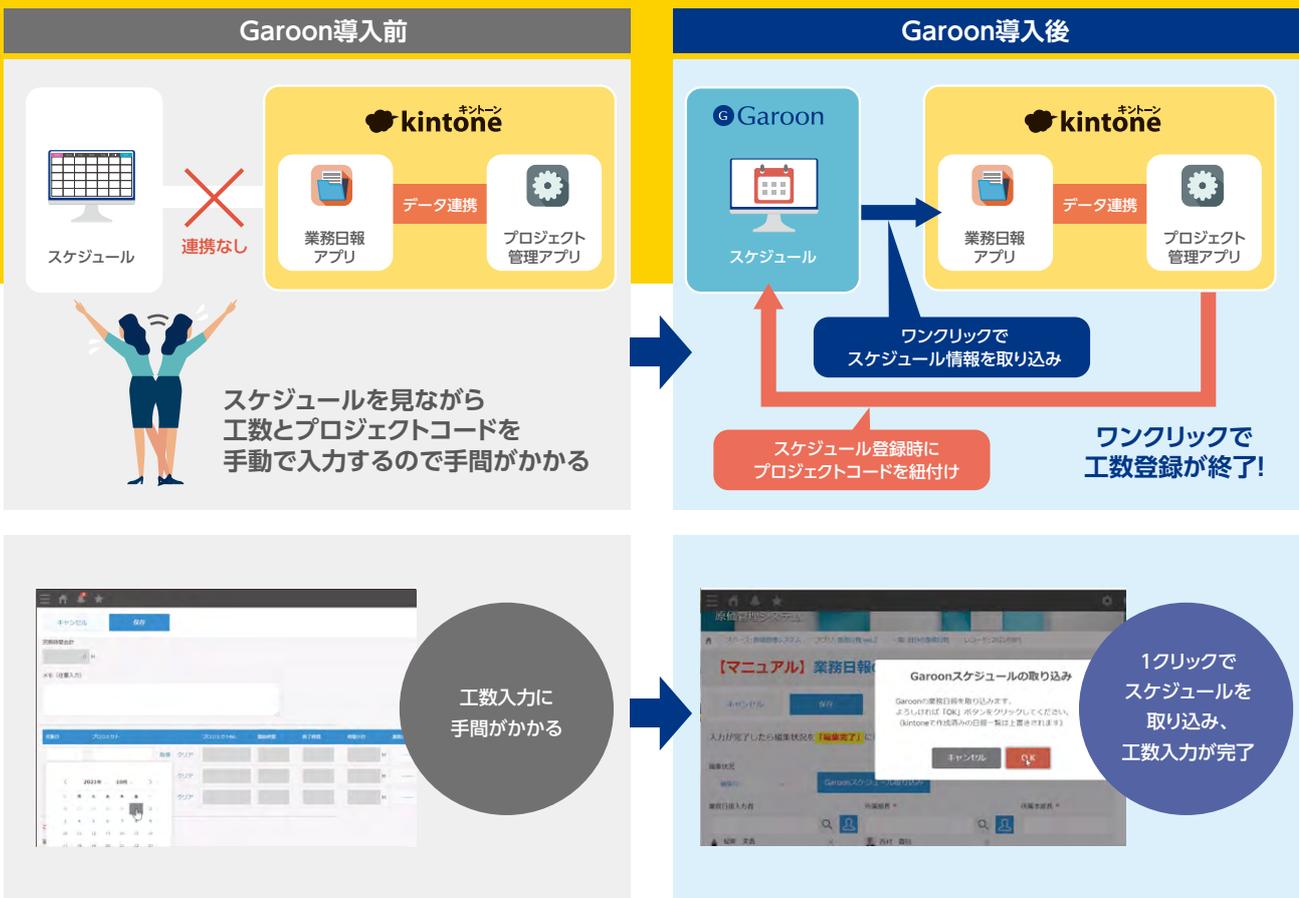
ので、どれがどのプロジェクトかを確認する手間も省けます。工数入力にかかる時間は大幅に短縮され、体感としては作業負担が半分くらいになりました。特に複数のプロジェクトに関わる人は楽になったと思います。

——現在Garoonやkintone、Microsoft 365などさまざまなシステムをお使いかと思えます。使い分けの方針はありますか？

まず大まかに、総務や経理などのコーポレート関連の情報共有はサイボウズ製品で、お客様とのプロジェクトに関わる資料作成やコミュニケーションはMicrosoft製品で行うようにしています。

サイボウズ製品の中では、分析や集計などデータ活用が必要な業務はkintoneで、それ以外はGaroonという方針がありますが、担当者が使いやすい方を柔軟に選べるようにしています。社内ではGaroonかkintoneかを意識せず使っている人も多いですね。Garoonに関する問い合わせが来たと思ったら実はkintoneの問い合わせだった、なんてこともよくあります。

「業務日報アプリ」からワンクリックでその月のスケジュールデータを取り込めるようになった



今後の展望

外部システムとのさらなる連携と業務のシステム化の推進

— 今後実装したいカスタマイズや連携機能はありますか？

まず Garoon のスケジュールと勤怠管理システムを連携したいと思っています。それができれば、勤怠管理、スケジュール、工数管理が一元的に管理でき、さらに効率化を図ることができると思っています。また山下 PMC で提供している施設管理サービス「b-platform」との連携や、Microsoft 365 とのユーザー情報の共通化も強化していきたいです。

— 外部システムとの連携強化でさらに使いやすくなりそうですね！ 社内の情報共有に関してはいかがでしょうか？

Garoon のポータルを活用して部署間の情報共有をさら

に進めていきたいです。今回全社ポータルを作成したことで、部署同士の取り組みが以前よりも見えやすくなり、他部署の取り組みを見た管理部門から「kintone で名刺発注依頼アプリを作れませんか？」「契約書管理アプリを作りたいです」といった問い合わせが増えてきました。ポータルでの情報発信が kintone を活用するきっかけとなり、各部署の業務効率化につながっています。

旧グループウェアから比べるとライセンス費用は上がりましたが、増加した費用以上の効果を感じています。今後は、たとえば各部署のアウトプットや検討中の企画をポータルに集めて共有するなど、お互いの仕事が見える化をさらに推進していきたいです。

詳しくはこちら

<https://garoon.cybozu.co.jp/mtcontents/cases/yPMC/>



kintone × Garoon 連携 オンデマンドセミナー配信中



kintone と Garoon の連携機能やプラグインを詳しくご紹介。セミナーを配信中です。お申込み後すぐ動画を視聴いただけます。



お申し込みはこちらから

<https://topics.cybozu.co.jp/seminar/2022/09/post-27629.html>

Garoonの詳しい情報は製品サイトで



詳しい機能や価格、導入方法やお客様の事例記事など詳しい情報は製品サイトでご案内しています。



詳しくはこちらから

<https://garoon.cybozu.co.jp/>

お気軽にお問い合わせください!



メールでのお問合せやオンラインでのご相談を承ります。お気軽にお問い合わせください。



詳しくはこちらから

<https://garoon.cybozu.co.jp/consult/>

サイボウズ株式会社

※サイボウズ、Cybozu、サイボウズのロゴマーク、ガルーン、Garoon、キントーン、kintone はサイボウズ株式会社の登録商標です。

※記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。また、当社製品には他社の著作物が含まれていることがあります。

個別の商標・著作物に関する注記については、[こちら](https://cybozu.co.jp/company/copyright/trade_mark.html)をご参照ください。

※本カタログの記載事項は変更になる場合がございます。

Copyright © Cybozu, Inc.